

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31209	日本語表現法 Study of Japanese Linguistic Expressions	千賀 敬之	基礎	1	選択	1・2年 後期

**科目の概要**

同音異義語・同訓異字語・ことわざ・慣用句などの日本語の基本的な知識を修得するとともに、原稿用紙の使い方・手紙文の書き方・要約文・作文・小論文・自己アピール文などの作成の方法並びに敬語使用法など様々な実践的課題に取り組むことによって、正しい日本語の文章表現力とコミュニケーション能力を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 計画に沿って漢字・慣用句・敬語などを学ぶ。 ② 原稿用紙に自分の考えをまとめ、発表する。 ③ 文章を読解し、要約方法と課題解決策を考える。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 具体的な場面で敬語を使用する。	① 敬語・文法・漢字・語彙の小テストの正解率が8割。 ② 要求字数の9割以上で文章をまとめることができる。 ③ 課題を発見し、その解決法を示すことができる。 ④ 話を聞き、意見を言うことで意思の疎通ができる。 ⑤ 人間関係を理解して様々な敬語を使用できる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む小論文・作文演習などに、自ら積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	毎回行う小テストの予習・復習はもとより、授業での課題への取り組みを確実に進めていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	文章や図表から、それぞれの課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。
	計画力	
	創造力	作文・小論文について、一般的・常識的見解を超えて、独自の考えを提示できる。
チームで働く力	発信力	要約・作文・小論文でまとめた内容、また、グループで話し合った内容を受講学生全体にポイントが伝わるように発表することができる。
	傾聴力	教員の講義の重点、他の学生の発表の要点、グループ内の発言の要点を的確につかみ、箇条書きでポイントを記述することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・欠席・居眠り・私語をしないなど、受講者のマナーを常に心掛ける。言語表現は、すべて規則・ルールに則っているため、さまざまな場面で習得できるようにする。小テストは毎回授業の初めで実施するので、予習したうえで確実に受ける。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト: 毎回、プリントを用意する。

参考文献: 「大学生のための敬語速習ノート」「大学生のための文章表現入門」 速水博司著  
NHK番組、日本経済新聞、日本語検定公式問題集、第一学習社カラー版新国語便覧など

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連: なし

資格との関連: 情報処理士・ビジネス実務士・メディカル秘書

学修上の助言	受講生とのルール
毎回配布されるプリントを熟読し、授業内容を理解するよう、復習を心がける。 毎回「小テスト」(社会人として必要な日本語の知識)を実施するので予習すること。	よく聞き、考え、課題に積極的に取り組み、表現力の向上に努めること。 配布プリントは、将来に備え、各自保管しておくこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	漢字・語彙・文章表現に誤りがない。 正しい手紙文を書くことができる。 課題となる長文を決められた字数で要約できる。 文章表現のポイントの読解ができ、課題点を見つけることができる。 敬語の種類・適切な使用ができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト	20	①	✓	毎回、家庭学習用の練習プリントを配付し、次の時間の最初に回収する。そのプリントが小テストの範囲になるので予習・復習を行う。 授業の最初に小テストを実施する。次の時間までに採点し、返却した時にフィードバックを行う。授業の初めに実施する文章表現・敬語・文法・漢字・語彙の小テストの得点を評価に加える。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	5	①	✓	内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、わかりやすい発表である。 他の学生の発表内容を箇条書きでまとめる。 グループワークにより、テーマについて話し合い、グループの意見をまとめることができる。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品	15	①	✓	誤字・脱字がなく、用語の使用が適切である。 要求字数の9割以上でまとめられている。 一文が簡潔でわかりやすい。 自らの独自の観点が示され、内容が優れている。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (授業態度)	10	①	✓	(主体性) 小論文・作文演習などに、積極的に取り組むことができる。 (実行力) 目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 (課題発見力) 文章・図表から課題を発見し、解決策を考察する。 (創造力) 文章・図表を踏まえて、独自の解決策を提案できる。 (発信力) 聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 (傾聴力) 他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 (規律性) 遅刻、欠席、学習意欲欠如をなくし、授業の進行に協力するなど、受講態度を整える。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、作文・議論・知識などが高度な内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字がなく、要求字数の9割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容も的確である。演習・グループ学習とも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。聞きやすく、説得力のある発表ができる。</p> <p>敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を9割以上マスターできている。欠席が1回以内と出席率が高く、試験・小テストの正解率が9割以上である。</p> <p>Aは、6行目まではSとほぼ同様であるが、敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を8割以上マスターできている。欠席が2回以内と出席率が高く、試験・小テストの正解率が8割以上である。</p>	<p>Bは、作文・議論・知識などがまずまずの内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字が2か所以内にとどまり、要求字数の8割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、ほぼ内容の過ちはない。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。聞きやすく、ほぼ内容が分かる発表ができる。</p> <p>敬語の種類・語彙を7割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が7割以上である。欠席が3回以内である。</p> <p>Cは、7行目まではBとほぼ同様であるが、敬語の種類・語彙を6割以上マスターでき、試験・小テストの正解率が6割以上である。欠席が5回以内である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 文章表現の基礎として、原稿用紙の使い方を学ぶ。 小テストの計画・方法の確認	講義・演習などの授業の方法と小テスト、予習復習のための課題について説明する。	原稿用紙の使い方・文章を書く手順が理解できる。	(復習) 授業の進め方の説明・原稿用紙の使用法の確認を行う。	90	実行力 傾聴力 規律性
2週 /	文章表現 1 400字作文「私の大切なもの」を書くことで原稿用紙の使用を学び、更に発表の方法を学ぶ。	小テスト・演習・発表 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。ルーブリックによりフィードバックを行う。	誤字・脱字・原稿用紙の誤使用が 5 か所以内で「私の大切なもの」の作文を作成し、隅まで届く声で発表できる。	(予習) 小テスト範囲、作文の題材探し、構想 (復習) 校正	90	主体性 実行力 傾聴力 発信力 規律性
3週 /	文章表現 2 新聞記事などを読み、200字要約で要約することで文章要約の基本を学ぶ。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	ニュース・新聞・長文を、キーワード・センテンスを押しさえ200字で要約することができる。	(予習) 小テスト範囲、ニュースを見る。 新聞を読む。 (復習) アウトライン確認	90	実行力 課題発見力
4週 /	文章表現 3 長文・図表から内容を読解し、序論・本論・結論の3段構成により自らの考えを展開する小論文(800字)の書き方を学ぶ。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	長文・図表の内容を要点を押しさえながら課題を捉え、それについての意見をまとめることができるようになる。	(予習) 小テスト範囲 (復習) 課題点の発見	90	主体性 課題発見力 創造力
5週 /	文章表現 4 各自の小論文に基づき、グループ内で意見交換しながら課題を確認し、課題解決に踏み出す方法を学ぶ。	小テスト・グループ学習・発表 小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	グループでの話し合い、問題の整理に参加し、グループ内で自らの役割を果たすことができる。	(予習) 小テスト範囲 (復習) グループ学習の反省	90	主体性 傾聴力 課題発見力 発信力
6週 /	尊敬語概論と演習 1 尊敬語の定義(相手側・第三者の行為・ものごと・状態について、その人を立てて述べることば)を確認し、練習問題を解く。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	尊敬語の定義が理解でき、通常語を、言い換えによる尊敬語、添加による尊敬語を使って、演習問題が解けるようになる。	(予習) 小テスト範囲、尊敬語の種類 (復習) 尊敬語の演習	90	実行力 傾聴力 規律性
7週 /	謙譲語概論と演習 2 謙譲語Ⅰの定義(自分側から相手側または第三者に向かう行為・ものごとなどについて、その向かう先の人物を立てて述べることば)、謙譲語Ⅱの定義(自分側の行為・ものごとなどを、話や文章の相手に対して丁寧に述べることば)を確認し、練習問題を解く。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	謙譲語の定義が理解でき、通常語を、言い換えによる謙譲語、添加による謙譲語を使って、演習問題が解けるようになる。	(予習) 小テスト範囲、謙譲語の種類 (復習) 謙譲語の演習	90	実行力 傾聴力 規律性
8週 /	丁寧語概論と演習 3 丁寧語の定義(話や文章の相手に対して丁寧に述べることば)、美化語の定義(ものごとを美化して述べることば)を確認し、練習問題を解く。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	丁寧語の定義が理解でき、通常語を言い換えによって丁寧語、美化語を使って演習問題が解けるようになる。	(予習) 小テスト範囲、丁寧語の種類 (復習) 丁寧語の演習	90	実行力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	文章表現 5 手紙文の構成(前文・主文・末文・後付・副文)・作法(頭語と結語の対応、時候の挨拶とその用語、相手の健康への配慮など)を学ぶ。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	与えられた題材により、手紙文の構成や作法にのっとり手紙文が書けるようになる。	(予習)小テスト範囲 (復習)手紙文の様式・用語を確認する。	90	実行力 発信力 傾聴力
10週 /	文章表現 6 自己の長所・短所を捉え、文章をまとめ、発表することで、自己PRの仕方を学ぶ。 600字作文	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	600字の8割以上・誤字5字以内・正しい段落分けで自己PR文を作成し、発表することができる。	(予習)小テスト範囲、自己PR文の構想下書き (復習)自己PR文校正	90	実行力 主体性 発信力 創造力 傾聴力
11週 /	文章表現 7 序論・本論・結論の3段構成により自らの考えを展開する小論文の書き方を学ぶ。テーマ型作文800字	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	800字の7割以上・誤字5字以内正しい段落分けで小論文・作文の作成することができる。	(予習)小テスト範囲、材料集め、構想、下書き (復習)校正	90	実行力 主体性 課題発見力 創造力
12週 /	文章表現 8 各自の小論文に基づき、グループ内で意見交換しながら課題を確認し、課題解決に踏み出す方法を学ぶ。	小テスト・発表 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	グループでの話し合い、問題の整理に参加し、グループ内で自らの役割を果たすことができる。	(予習)小テスト範囲 (復習)グループ学習の反省	90	実行力 主体性 発信力 傾聴力
13週 /	敬語表現の実践 I 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	相手が訪問客であったり、上司であったりと、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができるようになる。	(予習)小テスト範囲、敬語の種類、使い方 (復習)場面ごとの使用法	90	実行力 発信力 傾聴力
14週 /	敬語表現の実践 II 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。	小テスト・講義・演習 授業開始時に課題の回収と小テストを行う。前回小テスト・授業の振り返りによりフィードバックを行う。	相手が訪問客であったり、上司であったりと、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができるようになる。	(予習)小テスト範囲、敬語の種類、使い方 (復習)場面ごとの使用法	90	実行力 発信力 傾聴力
15週 /	これまで学んできた敬語表現・文章表現を総復習し、確認する。	講義・総復習 15週にわたって学修した内容を各回の小テスト・配布プリントなどを使って、授業のフィードバックを行う。	これまで学んできた敬語表現・文章表現を総復習し、確認する。	(復習)総復習	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力